



謹んで新年の御慶びを申し上げます

会員並びに賛助会員の皆様、新年明けましておめでとうございます。ご家族の皆様と共に輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。旧年中は、皆様から千鷺会の各種事業・行事に並々ならぬご支援・ご協力を賜り、年間計画を円滑かつ効果的に執り行うことができました。心より厚く御礼申し上げます。

昨年は、元旦早々の能登半島地震や異常気象に伴う各地での線状降水帯の発生による水害等、辛く悲しい災害が発生しました。国外では、中国による台湾併合への圧力強化、ウクライナへのロシアによる侵攻の継続と北朝鮮の軍事的介入、イスラエ

ルとハマスとの争いも新たにイラン等の周辺国へ波及し中東地域への紛争拡大が懸念されます。その一方、明るい話題もありました。パリのオリンピック、パリオリンピックでは、一生懸命競技に臨む選手達の活躍や発言から、感動や国境を越える笑顔の素晴らしい姿を改めて強く感じさせられました。さらに、ドジャース移籍一年目の大谷翔平選手から、次々と大リーグの個人記録を更新すると共にチームの一員としてもワールドシリーズの優勝をけん引する等、新時代の幕開けを予感するものとなりました。彼らには、夢や目標を定め、それに向かってひたむきに努力をし

続けることの大切さを再認識させられました。千鷺会においては、長く続いた新型コロナウイルスの影響もあって、会員相互の結束力の低下・会員数の減少等の問題が認められ、役員間でこれらの喫緊の課題を共有しながら、改善のための取り組みを開始した年となりました。本年は、このような状況の中で、会員相互の親睦と団結を強固にするため、各種活動の実施概要等を少しでも多くの会員の皆様への事前周知に一層努めてまいります。また、新規入会を促進するため、現職隊員への「千鷺会」千歳基地の唯一のOB会であることや活動内容のPRにも努めると共に、退職後未入会のOBに対しては改めて入会を案内してまいります。前述の取り組みである事業・行事の事前周知のためには、情報の配信、共有が重要で、昨年の総会で決定した広域幹事並びに地区幹事の廃止は、現任幹事の高齢化や後任者不在等の



千鷺会会長 佐藤敏博

年頭のご挨拶



新春の集いの御案内

日時：2月28日(金) 19:00～
場所：ANAクラウンプラザホテル千歳
会費：6,000円

千鷺会掲示板ライングループで
お友達になりましょう

懇親会等のイベントの御案内、出欠の有無、各種調整等に使用します。
右のQRコードを読み込んで下さい。



千歳市空港開港100年

千鷺会も実行委員に名乗り

7月30日 11時に、佐藤千鷺会会長、他4名の役員は、千歳市空港開港100年記念事業実行委員会の委員として貢献する要望をお伝えするため、実行委員会を統括する千歳市企画部の中村主幹他2名の担当者を訪ねた。



「北海」1号の復元機



市民ホール



市役所での顔合わせ

会長・副会長・市長・副市長及び企画部職員との集合写真

千歳市は千歳空港開港の基となる日である1926(大正15)年10月22日としていた。これは、小樽新聞社(北海道新聞社)が同年8月に開通する苗穂と沼ノ端を結ぶ鉄道を利用した観覧会を企画し、千歳村に食料支援を依頼して、当日の列車の千歳到着時刻に、飛行機から千歳村民への感謝のヒラを撒く事にした。しかし、村民からは「近くで飛行機を見せたい」との要望があり、約150人が2日間整った着陸場に「北海」第1号が着陸したからである。

千歳飛行場事始め

千歳飛行場は、1937(昭和12)年に海軍管理となり、1945(昭和20)年の太平洋戦争終結に伴い米国に接収された。

1951(昭和26)年10月26日に日本航空が定期運航を開始した。その後1963(昭和38)年に民間航空専用のターミナルが基地の外

(東側)に出来るまで、千歳基地内の旧ベースオペレーションを旅客ターミナルとして活用していた。
B-29がグアムより千歳へシカゴへ
1945年(昭和20)8月17日にグアムから3機のB-29が千歳飛行場に飛来し、翌18日にアラスカ経由でシカゴまで飛行した。この中の1機には、日本本土無差別爆撃を指揮したカーチス・ルメイ少将が搭乗していた記録もある。
この18日に旧ソ連が千島列島最北端の占守島に侵攻を開始した。

小説『点と線』
1957年に発表され、翌年に劇場公開された、松本清張の小説『点と線』の同名映画には、旧ベースオペレーションが描かれている。

東千歳駐屯地に着陸

1961年(昭和36)4月3日、JALのDC-7が、陸上自衛隊東千歳駐屯地内の未除雪の滑走路に誤って着陸した。
同機は翌日に千歳基地から除雪の支援を受けて羽田へ出発した。

降雪時に滑走路を逸脱

1988年(昭和63)1月18日、ANAのボーイング747が降雪状況下の千歳飛行場東側滑走路へ夜間着陸を試みた。接地点から外れた西端に接地して滑走路を逸脱し、一旦は滑走路へ復帰したが、再び滑走路の東側へ逸脱して深雪の中で墮座、中破した。同機の撤収作業は千歳基地が実施した。

滑走路使用料金を計算

新千歳空港が開港するまで、飛行場勤務隊は恒常業務として、各民間航空会社が国庫へ滑走路使用料金を納めるための資料(機種ごとの重量をタイヤの数で割った値や着陸回数)を、毎朝欠かさず車両で滑走路を横断して空港事務所へ届けていた。